

2017年クリーンハイク報告書

この報告書、および別紙の「登山道状況報告書」「クリーンハイク・アンケート集約表」は、6/23最終実行委員会までに連盟事務所に送付してください。

〒162-0814 新宿区新小川町5-24 東京都勤労者山岳連盟あて

FAX 03-3260-0372

コース 奥多摩 むかし道（奥多摩湖～ふれあい館～入口～水根入口～水根集落～中山集落～南氷川～JR奥多摩駅）	地区連盟 豊島区連盟
記入者名 島崎 達雄	
参加者数	1 会 11 名（うち労山会員外 3 名） ※会員の家族は会員として数えてください
参加会名→目白山岳会	
回収ゴミ量合計	8.0 kg
特徴→休憩場所の見にくい場所にもゴミは少ないが、生活ゴミあり。	
可燃ゴミ	2.5 kg
カン・金属類	1.0 kg
ビン・ガラス類	3.0 kg
ペットボトル	0.5 kg
その他不燃ゴミ（ビニール・プラスチック等）	1.0 kg
<p>コースの状況、ゴミの多かった場所、特徴点、その他気づいたこと 「奥多摩むかし道」甲州裏街道ロマンティックな歴史をたどる道です。 奥多摩駅から奥多摩湖へバスで向かい、ふれあい館で準備を済ませ道標に沿って進みます。出だしは舗装道路の上り坂、地蔵様、道祖神、歌碑、お不動様と道端には歴史の一コマが目白押しです。山道に入ると、菓子袋、吸い殻、ペットボトル、空き缶、かけた瓶、資材の部品などとりあえず分別なしに回収していきます。コースの各所にベンチ、トイレ、休憩所など充実しています。いつの間にか国道を横切り多摩川沿いの舗装道路に進む、ハイカーの他にサイクリングの人たちも木漏れ日を楽しんでいた。氷川に近づいてくると左側に崖が続き始める、よく見ると鉄道あとみたいな橋梁が見える。かなり高い位置だが次第に近づいてくる。物好きの会員が、崖登りをはじめ、とうとう線路に這い上がりトンネル内に消えていった。しばらくいなくなり心配していると何事もなかったかのようにおりてきた。廃線跡とトンネルが目の前に現れるとみんなも待ちきれないで廃線跡にむかい、真っ暗なトンネルをおっかなびっくりで駅にむかった。ゴミ集積は、都連の指示に従い役所に出向いたが、連絡がついていなかった。仕方なく日直の方と交渉し、こちらの趣旨を話すと喜ばれ分別を済ませた。</p>	

